



# 京都 三弘法まいり

## 京都で巡る、 弘法大師縁の寺へ

やりきれないことが、  
起こったときも。  
人には明かせない、心配ごとを  
持っているときも。

胸の内が、言葉にできない  
思いでいっぱいするときも。

### 「同行二人」

お大師様は、いつも一緒に  
歩んでくださっています



仁和寺御影堂・大師42歳（厄年）時のお姿

あなうれし  
ゆくもかへるも  
とどまるも  
われはだいしと  
ふたりづれなり

この京都で、お大師様に  
出会ってください、ぜひ。

三弘法とは、弘法大師空海  
とゆかりの深い、東寺、仁和  
寺、神光院の三つの寺のこと  
を指します。

三弘法まいりと呼ばれる  
風習は江戸中期にはじまっ  
たとされ、三弘法を正月の三  
日間（松の内）にお参りすれ  
ば、一年中の厄を逃れること  
ができるとの信仰です。また、  
弘法大師空海の縁日（毎月  
二十一日）に巡礼するという  
習わしもあります。

さらに、四国八十八カ所霊  
場に詣る人が道中安全の祈  
願を行う風習もありました。  
東寺では管笠、仁和寺では金  
剛杖、神光院では納札箱を授  
かり、それらを身につけて四  
国での遍路修行が行われて  
いました。

お大師様は衆生救済を絶  
対の御願となされています。  
社会が混迷を深める現代、  
その御教えが人々に必要と  
されています。今こそ、三弘  
法を巡拝し、お大師様の心と  
御教えに触れ、そして「同行  
二人——お大師様がいつも  
一緒に歩んでくださっている  
こと」を実感していただければ  
幸いです。

歴史と文化のかおり漂う  
京都の街で心を清めてくだ  
さい。



# 京都 三弘法まいり

## 放光山 神光院



賀茂別雷神社(上賀茂神社)の神職松下能久が、「靈光の照らした地に一字を建立せよ」との神託を受け、建立されました。神光院という寺名はこの由緒によるものです。

弘法大師が42歳の夏に、修行を行った場所とされます。修行を終え寺を去る際に、池に映る自身の姿を見ながら彫られた木像が、当院の本尊であり「厄除け大師」として信仰されています。

毎年7月下旬には、弘法大師がキュウリに疫病を封じて病氣平癒を祈願したことになみ、疫病よけの「きゅうり封じ」(きゅうり加持)が行われています。

お遍路参りに行かれる方が、神光院で納札箱を授与されていたことに由来したお守りです。

- 住所 京都市北区西賀茂神光院町120  
 電話番号 075-491-4375  
 拝観時間 9:00~16:00  
 料金 無料  
 (※その他、詳細は直接お問い合わせ下さい。)
- 駐車場 自家用車(10台分) 無料
  - バス停 「神光院前」下車 徒歩約3分

(ミニ納札箱)



## 大内山 仁和寺

真言宗御室派総本山。第59代宇多天皇が、先帝である光孝天皇の遺志を継ぎ、仁和4年(888年)に建立。寺名は元号から仁和寺となりました。宇多天皇が、仁和寺第1世寛平法皇となってからは、明治時代まで皇子皇孫が代々門跡(住職)を務めた格式高い寺院であります。

裏山の成就山には、四国八十八ヶ所霊場から持ち帰ったお砂を埋めた上にお堂を建てた、御室八十八ヶ所霊場があります。参拝道は自然にあふれ、京都の四季の移り変わりを感じられ、約3kmのコースとなっています。

お遍路参りに行かれる方が、仁和寺で金剛杖を授与されていたことに由来したお守りです。

- 住所 京都市右京区御室大内33  
 電話番号 075-461-1155 FAX 075-464-4070  
 拝観時間 9:00~17:00(受付終了16:30) (※12~2月は30分短縮)  
 料金 (御殿)一般500円・(桜祭)一般500円・(霊宝館)一般500円  
 H P <http://ninnaji.jp/>  
 (※その他、詳細はホームページにて、又は直接お問い合わせ下さい。)
- 駐車場 観光バス(12台分)1,000円(1日)  
 ※平成30年10月1日より2,000円(1日)  
 自家用車(120台分)500円(1日)
  - 京福電鉄 「御室仁和寺」下車 徒歩約3分
  - バス停 「御室仁和寺」下車 すぐ

(ミニ金剛杖)

## 三弘法授与品



朱印帳の裏面にはお大師様が。

### 朱印帳

三弘法まいり専用の朱印帳です。一年の無病息災を願って、集印めぐりはいかがでしょうか。集印はどのお寺から始められてもかまいません。朱印帳は観音開きとなっており、そのままお祀りいただけます。



満願書は、ケースにぴったり収まるサイズです。

### 木札守

菅笠・金剛杖・納札箱が、それぞれに描かれた木のお札です。最初におまいりされた寺院にて専用ケース+札を、残り二寺院では札のみを、最後に満願書をお求めいただければ、お祀りするのに便利な三弘法木札が一組完成いたします。

## 八幡山 東寺



全真言宗の総本山であり、根本道場。開基は桓武天皇。

平安遷都と共に官寺(国立の寺院)として建立された東寺を、唐で密教を学んで帰国した空海(弘法大師)が嵯峨天皇より賜り、真言密教の根本道場としました。中世以降は弘法大師に対する信仰の高まりとともに「お大師様の寺」として庶民の信仰を集めるようになりました。

空海(弘法大師)の月命日である21日を縁日として、寺の境内外にはたくさんの露店が市を開き、「弘法市」「弘法さん」と呼ばれ、大勢の人でにぎわいます。

お遍路参りに行かれる方が、東寺で菅笠を授与されていたことに由来したお守りです。

- 住所 京都市南区九条町1  
 電話番号 075-691-3325 FAX 075-662-0250  
 拝観時間 8:00~17:00(受付終了16:30)  
 ※朱印受付 8:30~16:30  
 料金 御影堂 無料(金堂・講堂は500円 尚、五重塔公開中は800円)  
 備考 団体で説明が必要な場合は、事前に予約が必要  
 H P <http://www.toji.or.jp/>  
 (※その他、詳細はホームページにて、又は直接お問い合わせ下さい。)
- 駐車場 観光バス(10台分)2,000円(2時間)  
 自家用車(50台分)600円(2時間)
  - 近鉄 「東寺駅」下車 徒歩約10分
  - J R 「京都駅」下車 徒歩約15分
  - バス停 「東寺東門前」「東寺南門前」「東寺西門前」下車すぐ

(ミニ菅笠)